野洲中学校
認知症サポーター養成講座
オレンジガーデニングプロジェクト

認知症サポーター養成講座・オレンジガーデニングプロジェクト



６月９日に認知症サポーター養成講座が開催され、人権研究会のメンバーが参加しました。この講座では、認知症についての基本的な知識と、認知症の方との適切な接し方を学ぶことができました。参加者は、認知症についての理解を深めるとともに、どのようにサポートができるかを考える貴重な機会となりました。

認知症への理解と接し方



講座では、認知症の基本的な症状や進行について詳しく説明されました。また、認知症の方と接する際に重要なポイントとして、以下のようなことが紹介されました。

尊重と共感：認知症の方の気持ちを尊重し、共感をもって接すること。
コミュニケーション：シンプルで明確な言葉を使い、ゆっくりと話すこと。
安全な環境作り：認知症の方が安心して過ごせる環境を整えること。

家庭や地域でのサポート

参加者は、家庭や地域社会において認知症の方やその家族を温かく見守り、自分にできる範囲内でサポートしていくことの重要性を再認識しました。小さな気遣いが大きな支えとなることを学び、地域全体での支援が求められていることを実感しました。

オレンジリングの授与

講座を受講した生徒たちは、認知症サポーターの証としてオレンジリングをいただきました。このリングは、認知症の方を支える意思を示すものであり、今後の活動への励みとなるものです。

オレンジガーデニングプロジェクト



６月２３日に人権研究会で「オレンジガーデニングプロジェクト」に取り組みました。このプロジェクトは、地域社会における認知症への理解をさらに深めるための活動で、オレンジ色の花を育てることで、認知症サポーターとしての意識を広めていくことを目指しています。
このように、一人ひとりの小さな取り組みが、地域全体の支援の輪を広げる大きな力となることを信じて、今後も活動を続けていきます。

野洲中学校地域学校協働活動